

世界の主な地震

平成 30 年（2018 年）7 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

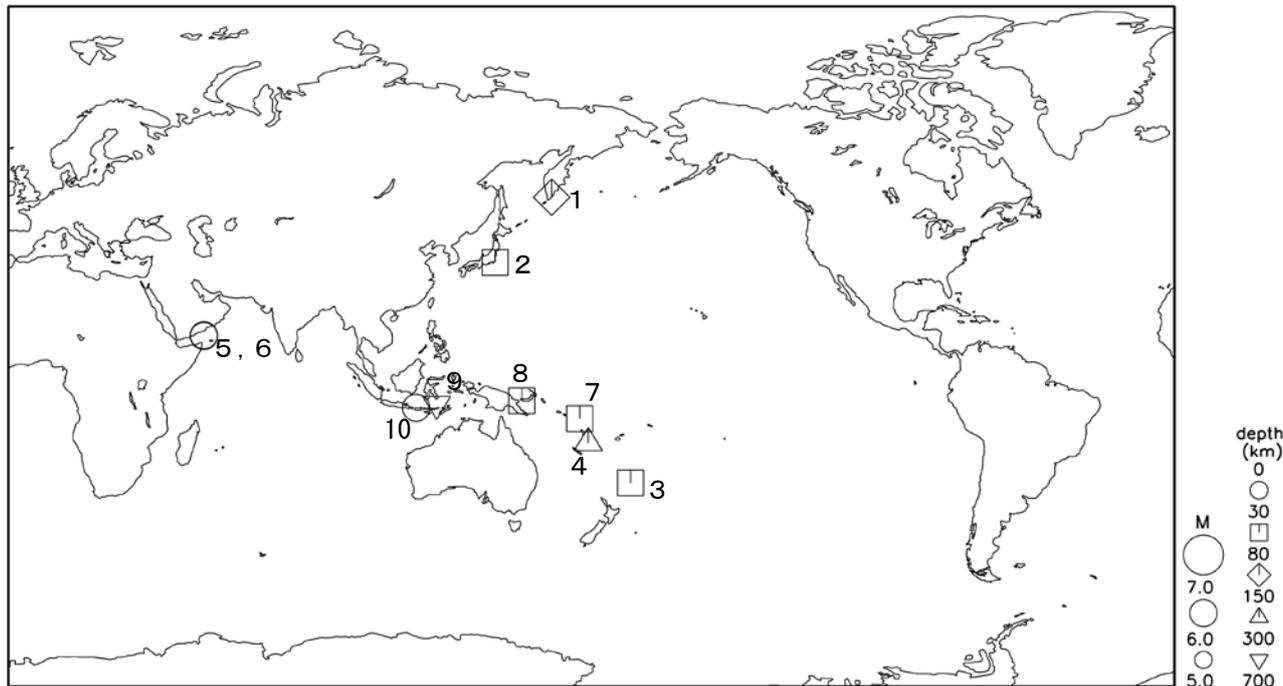


図 1 平成 30 年（2018 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 平成 30 年（2018 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	06日10時40分	N51° 36.8'	E157° 51.2'	80			6.1	カムチャツカ東部沿岸付近			
2	07日20時23分	N35° 09.9'	E140° 35.5'	57		6.0	(5.9)	千葉県東方沖			
3	08日06時33分	S30° 34.0'	W178° 4.3'	35			6.0	ニュージーランド・ケルマテック諸島			
4	13日18時46分	S18° 56.0'	E169° 1.3'	169			6.4	バヌアツ諸島			
5	15日10時57分	N14° 3.6'	E051° 43.5'	10			6.0	アデン湾東部			
6	15日22時09分	N13° 50.9'	E051° 43.0'	10			6.0	アデン湾東部			
7	17日16時02分	S11° 35.6'	E166° 25.9'	38			6.0	サンタクルーズ諸島			
8	20日03時30分	S06° 6.8'	E148° 43.8'	30			6.0	パプアニューギニアニューブリテン付近			
9	29日02時07分	S07° 7.3'	E122° 44.8'	577			6.0	フロレス海			
10	29日07時47分	S08° 16.4'	E116° 29.5'	6			6.4	インドネシア スンバワ島付近	死者17人以上		

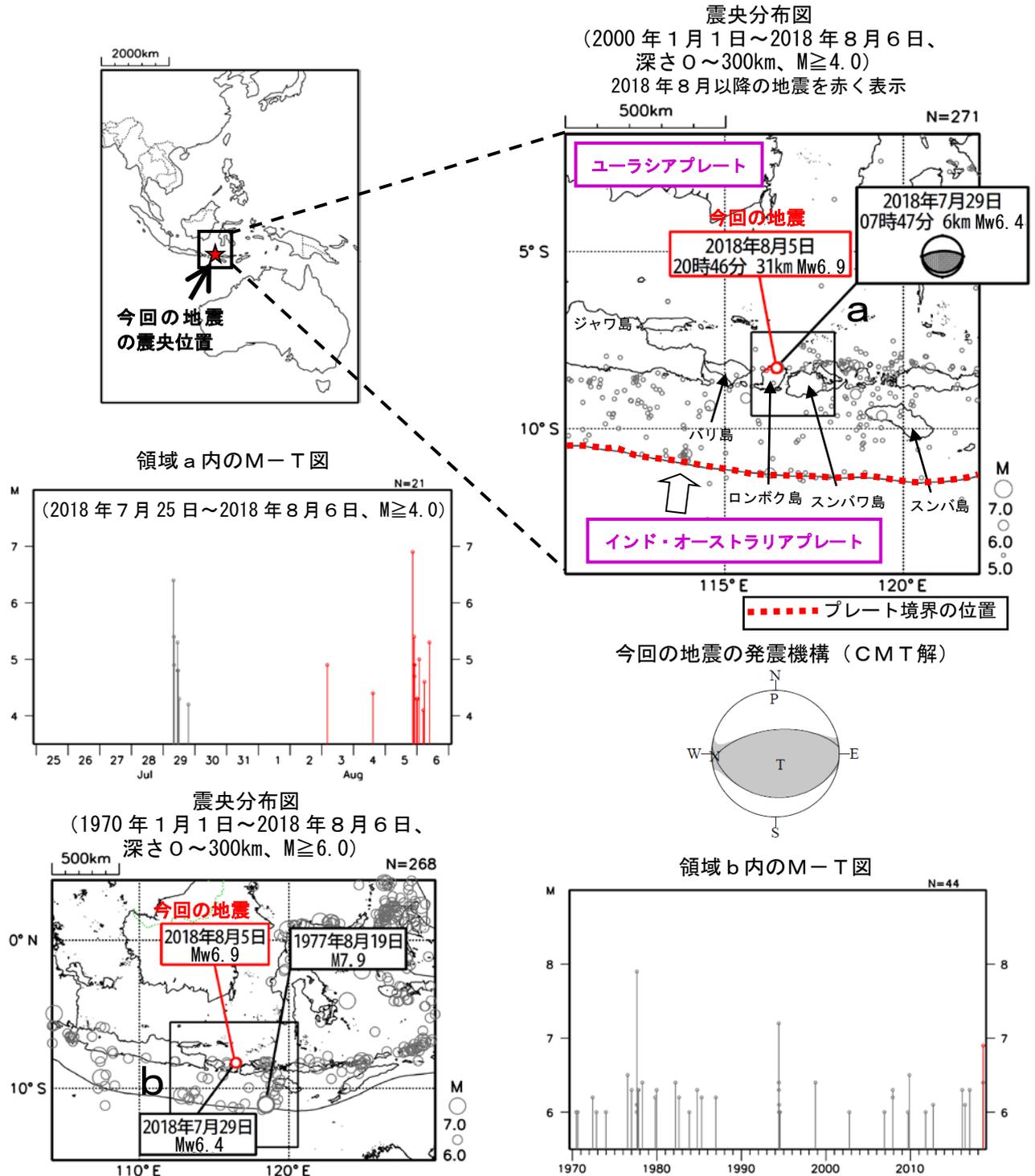
- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2018 年 8 月 2 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。

8月5日 インドネシア、スンバワの地震

2018年8月5日20時46分（日本時間、以下同じ）にインドネシア、スンバワの深さ31kmでMw6.9の地震が発生した。この地震により、震源に近いロンボク島の北部と西部を中心に少なくとも死者90人の被害が生じた。気象庁は、この地震に対して、同日21時19分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。

この付近には、インド・オーストラリアプレートとユーラシアプレートの境界がある。この地震は発震機構（気象庁によるCMT解）が南北方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の震央付近（領域a）では、2018年7月29日にもM6.4の地震が発生し、死者17人以上の被害が生じた。

1970年以降の活動をみると、今回の震央付近（領域b）では、1977年8月19日にM7.9の地震が発生し、現地で死者189人の甚大な被害が発生した。



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構はGlobal CMT、Mw及び震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2018年8月6日現在)。今回の地震と2018年7月29日の地震の被害は国際連合人道問題調整事務所(OCHA)による(2018年8月6日現在)。1977年8月19日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.